

2022年度 早稲田大学大学院教育学研究科
博士後期課程 専門職業人入学試験問題 [小論文]
【教育基礎学専攻】

解答上の注意

1. 教育基礎学専攻の入学試験問題は、出願時に届け出た指導教員の欄に従い、下記の表の解答すべき問題を解答しなさい。

志願票に記入した研究指導名	志願票に記入した指導教員名	解答すべき問題・ページ
教育学研究指導	藤井 千春	設問 (P.2)
教育学研究指導	坂倉 裕治	
教育学研究指導	根津 朋実	
教育学研究指導	吉田 文	設問 1 ～ 設問 2 (P.3) の中から 1 問解答
教育学研究指導	濱中 淳子	
社会教育学研究指導	矢口 徹也	
社会教育学研究指導	小林 敦子	
教育心理学研究指導	上淵 寿	設問 (P.4)
教育心理学研究指導	堀 正士	
教育心理学研究指導	椎名 乾平	
教育心理学研究指導	坂爪 一幸	
教育心理学研究指導	本田 恵子	
教育心理学研究指導	梅永 雄二	
初等教育学研究指導	河村 茂雄	設問 (P.5)
初等教育学研究指導	佐藤 隆之	

2. 解答用紙の所定欄に、研究指導名・指導教員名・受験番号・氏名を必ず記入すること。
3. 解答用紙が複数枚配付された場合、ホッチキスははずさないこと。また、無解答の解答用紙でも提出すること。
4. 問題用紙は「5枚」（本ページ含む）、解答用紙は「1枚」です。必ず枚数を確認すること。

以 上

2022年度
早稲田大学大学院教育学研究科博士後期課程入学試験問題
専門職業人入試 科目名 小論文（教育基礎学専攻）

当問題は、以下の研究指導を志願する専門職業人を対象とする。

教育学研究指導（藤井千春）

教育学研究指導（坂倉裕治）

教育学研究指導（根津朋実）

設問 中央教育審議会の『令和の日本型学校教育』の構築を目指して（答申）（令和3年1月）では、『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実が提言されている。「個別最適な学び」とは何か、また「協働的な学び」とは何か、それぞれについて説明しなさい。その上で、それらの「一体的な充実」によりどのような学校教育が可能となるか、また、そのためにどのようなことが課題となるか、あなたの考えを論じなさい。

2022年度
早稲田大学大学院教育学研究科博士後期課程入学試験問題
専門職業人入試 科目名 小論文（教育基礎学専攻）

教育学研究指導（吉田文、濱中淳子）、社会教育学研究指導（小林敦子、矢口徹也）志願者

問題 次の2つの設問のうちから1問を選択して答えなさい。答えは、別紙解答用紙に、選択した設問の番号を付して記入しなさい。

設問1. 小学校から高校までは学習指導要領による教育内容の接続が担保されている。では、高校と大学の教育内容の接続をどのような観点から担保することが可能か、なるべく具体的に論じなさい。

設問2. コロナ禍において、学校と地域社会との関係性の新たな構築が求められている。教員として地域の人材・資源を活用しながら、いかに学校経営をすすめるべきか、自由に論じなさい。

2022年度
早稲田大学大学院教育学研究科博士後期課程入学試験問題
専門職業人入試 科目名 小論文（教育基礎学専攻）

次の【設問】は、以下の研究指導の志願者を対象とする。

教育心理学研究指導

（上淵 寿）、（堀 正士）、（椎名乾平）、（坂爪一幸）、（本田恵子）、（梅永雄二）

解答は、別紙解答用紙に解答すること。

【設問】

「個別最適な学び」について、具体例を複数挙げ、それらを教育心理学の理論から説明しなさい。

2022 年度

早稲田大学大学院教育学研究科博士後期課程入学試験問題

専門職業人入試 科目名 小論文（教育基礎学専攻）

次の【設問】は、以下の研究指導の志願者を対象とする。

初等教育学研究指導

（河村茂雄） （佐藤隆之）

設問 令和の学校教育では、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現が期待されている。あなたなら個別最適な学びと協働的な学びをどのように統合して教育実践するのかを、関わりのある学校種の児童生徒・学生の発達段階や実態を踏まえて、具体的な例をあげて説明しなさい。